

令和2年8月18日に産業建設委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

報告事項

・今後のイベント実施について

～内容～

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、延期及び内容が変更となったイベントについて報告を受けました。

～質疑～

問： 市民まつりの代替案として花火を計画しているとのことだが、日にちを決めて実施するのか、それともサプライズで実施する予定なのか。

答： 市内4箇所と同時に、サプライズで花火を打ち上げる予定である。原則告知はせず、会場の観覧も禁止ということで検討していると聞いている。

問： 市内4箇所で花火を打ち上げるとのことだが、警備体制はどうか。

答： 消防とも連携を図り、花火の各許認可の関係もクリアして実施する予定である。

問： 赤米フェスタの代替案として、メッセージ映像などの動画を配信予定とのことだが、具体的にどのようなものか。

答： 相川赤米大使に国分寺へ来ていただき、そこでメッセージと歌の収録を行い、動画配信する予定である。配信方法は、赤米と総社市の魅力を全国発信するため、YouTubeを用いて配信する予定としている。

・新型コロナウイルス感染症緊急経済対策の進捗について

～内容～

新型コロナウイルス感染症に係る市独自の緊急経済対策の進捗状況について報告を受けました。

～質疑～

問： そうじゃ未来資金事業及び新分野チャレンジ事業の申請状況はどうか。

答： 未来資金事業については、制度を周知するため、申請書類の郵送や電話での案内を実施している。2,100事業者を見込んでいたが、現在723件ということで、見込みよりはかなり少ないと感じている。商工会議所や商工会で今後300件程度は申請があるのではないかと見込んでおり、1,000件程度にはなるのではないかと考えている。

新分野チャレンジ事業については、現在は11件ということで、制度が分かりづらかったのではないかと印象もあるが、これから申請をする予定の事業所もあり、最終的には30件程度の申請があるのではないかと考えている。

問： 復活券の発売時期を延期しているが、コロナウイルスの感染拡大が収まらなければ復活券の使用期限の延長も考えなければいけないのではないか。

答： 復活券の販売時期が遅くなれば3月末までの期間が短くなり、使用する時間がなくなるので、なるべく早く販売開始したいという思いはある。国の交付金事業については、繰越しが可能と聞いており、最悪そういったことも想定していかなければいけないと考えている。

・(仮称) 福井支線 3467 号道改良事業について

～内容～

(仮称) 福井支線 3467 号道改良事業について、協議経過及び今後のスケジュールについて報告を受けました。

～質疑～

問： 福井支線 3467 号道の交差点部分は信号機や歩行者がバイパスを横切ることのできる設備は設置されるのか。

答： 信号機については設置できる交差点形状で改良の計画をしている。設置については公安委員会が判断することになる。歩道については泉団地から西側歩道を整備し、交差点部分は横断歩道がありバイパスを横切れる計画にしている。

問： 歩道のところへ防犯灯を設置する計画はあるのか。

答： バイパスの中に電線共同溝が入っているので、そこから分岐して電源をとれる計画にしている。今後地域の方とよく調整し、状況を見ながら検討していきたい。

・排水対策事業について

～内容～

秦地区及び美袋地区の排水ポンプについて、施設の配置計画や事業の進捗状況について報告を受けました。

・溝口踏切の拡幅事業について

～内容～

溝口踏切の拡幅事業について、協議経過及び今後のスケジュールについて報告を受けました。

～質疑～

問： 工事期間中の自転車の迂回路はどうか。

答： この踏切は総社西中学校の通学路でもあり、自転車での通行が非常に多い踏切である。地元や学校関係者と相談しながら、迂回路は考えていきたい。

問： 総事業費が2.6億円とのことだが、市の負担はどの程度か。

答： 通学路ということで、国から55%の交付金をいただく予定で概算要望をしている。
残りについては単市になるか、起債を活用するか財政課と調整していきたい。